

26高私助第27号  
平成27年1月19日

文部科学大臣所管関係各学校法人理事長 殿

文部科学省高等教育局私学部私学助成課長

矢野和彦



(印影印刷)

「私立大学戦略的研究基盤形成支援事業」に係る事後評価  
(平成26年度実施分)の結果について(通知)

さきに提出された研究成果報告書(概要)を「私立大学戦略的研究基盤形成支援検討会」において評価した結果について、別添評価票のとおり通知します。

別添評価票は、2名の私立大学戦略的研究基盤形成支援検討会委員による評価の結果となっております。

貴学校法人におかれては、研究組織に評価結果を周知いただくとともに、評価結果を踏まえ、今後の研究の振興に努めていただくことができれば、幸いと存じます。

また、参考までに、今回事後評価の対象となった全ての事業における各委員の評価結果(総合所見)は、A評価(優れた研究成果を上げている。)が全体の約40%、B評価(研究成果は上がっている。)が全体の約49%、C評価(あまり研究成果が上がっていない。)が全体の約11%となっております。

【本件問合せ先】

〒100-8959 東京都千代田区霞が関3-2-2

文部科学省高等教育局私学部

私学助成課助成第二係 小林、平井、伊藤

TEL : 03-5253-4111(内線 2774)

FAX : 03-6734-3396

E-mail : josei2@mext.go.jp



「私立大学戦略的研究基盤形成支援事業」事後評価  
(平成26年度実施分)に係る研究成果評価票

大学名	研究組織名	研究代表者名	
岩手医科大学	医学研究科・歯学研究科・先端医療研究センター・先進歯科医療研究センター	鈴木一幸	
申請区分	研究拠点を形成する研究	研究プロジェクト番号	S1001001
研究プロジェクト名	低侵襲医療実現のための患部ターゲティング医療開発研究プロジェクト		
【研究成果報告書概要に対する評価】			
1 研究組織について			
2 研究施設等について			
3 研究プロジェクトの研究成果等について			
4 その他(留意事項への対応状況等) 中間評価で挙げられた課題(連携とRA)解決に向けて進歩があった。			
5 総合所見 ( A ) 多岐にわたるテーマは、得てして総花的になりがちであるが、横断的な組織を編成し、未来医療に向けての基盤形成ができつつあることが伺えた。			

「私立大学戦略的研究基盤形成支援事業」事後評価  
(平成26年度実施分)に係る研究成果評価票

大学名	研究組織名	研究代表者名	
岩手医科大学	医学研究科・歯学研究科・先端医療研究センター・先進歯科医療研究センター	鈴木一幸	
申請区分	研究拠点を形成する研究	研究プロジェクト番号	S1001001
研究プロジェクト名	低侵襲医療実現のための患部ターゲティング医療開発研究プロジェクト		
<b>【研究成果報告書概要に対する評価】</b>			
1 研究組織について 研究代表者の途中交代は好ましくないが、やむを得ない事由によるものと思われる。月例のプロジェクト推進委員会を開催するなど、研究者間の協力連携に努め、PDを含めた若手研究者の育成に成果を挙げた。さらに研究費の傾斜配分や競争による新規課題の採択など、研究組織の活性化に工夫が図られた。また、自己評価・外部評価体制が適切に機能した。			
2 研究施設等について 研究施設・設備の稼動状況は良好であった。			
3 研究プロジェクトの研究成果等について 各研究グループが着実に研究成果を挙げたと評価できる。ホームページの活用など、研究成果の公開にも意を注いだ。研究の一部について、特許取得・出願に至ったことは評価できる。			
4 その他(留意事項への対応状況等) 選定時及び中間評価時に付された留意事項については、可能な範囲で対応がなされたものと評価できる。			
5 総合所見 ( A ) 東日本大震災の発生により、中間評価時には取り組みの遅れがみられたが、研究代表者及び各研究者の自助努力で所期の成果を挙げたものと評価できる。			